

研修名 保健衛生・安全対策

平成 30 年 9 月 6 日（木）10:00～16:00

講 演 「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の
対応のためのガイドラインの理解」

「安全な環境づくりと安全の確認方法」

「事故防止及び健康安全管理に関する組織的取組」

「災害への備えと危機管理」

講 師 (株) アイギス代表 脇 貴志 氏

1 講演要旨

・ガイドラインの意味

ガイドラインとは、従わなければならないもの。知っているだけでは意味がない。
ガイドラインは国のルールであるため、ガイドライン＝現場になっていないといけない。
これはクリアしておくべきという最低限のルールである。

・ガイドラインはどのようにしてできたのでしょうか。

平成 27 年 4 月 1 日まではガイドラインがなく、事故がない状態＝安全とされていた。
新制度にともないガイドラインができた。そのことで安全かどうかを見る基準ができる。
平成 27 年 4 月 1 日より、安全の基準を守る園＝安全な園となる。

・ガイドラインが予防の対象にしている事故の種類

重大事故を対象＝死亡・死にかけた・治療に一月以上かかる
ガイドラインに明記されている事故の順番は過去のデータをもとに死亡が多かった順に
なっている。

・事故対応の基本は先手を打つこと

一手目は、謝罪と説明（スピード・タイミング）、速さが重要。以後は、保護者の反応に
よって考える。

・安全な環境はヒトがつくる

安全な環境をつくれる人を作ることが重要。
安全管理＝想像力。周りがどういう状況なのか考えられること。
『習慣』が安全な環境をつくるため、日々の行動から見直す必要がある。

・安全確認はミスの発見ではない

園内で色々な場面に応じて全員共通の正常を決める。それ以外は異常であり（ヒヤリハッ
ト）、普段から異常の発見能力を磨くことが事故防止につながる。正常は不都合な事が起
こるたびに考え、いつでも変える。全職員が共有する。

・危機管理とは異常をいち早く発見し、正常に戻すこと

正常は園内で決める。個人の中で正常がバラバラではいけない。
園内正常を決める→共有する→それ以外は異常→正常に戻す＝『危機管理』。
園内正常を決めておくことですべての人間が異常に気付く。

- ・**危機管理能力とは能力というよりも「感覚」に近いもの**
 安全に関する感覚(台風がくるかもしれないと分かっているのに園を開けるのはおかしいという感覚)。
 『避けられるリスク(危険)は避けたほうがいい』
- ・**事故発生メカニズムを知りましょう「事故はチームワークで防ぐ」というのは違う**
 事故はチームワークで起こすと考えたほうがよい。無関心、他人事といったことが事故を起こす。
 保育の環境を整えば整うほど心配性になる必要がある。
異年齢児保育のリスク(平成29年度の幼児死亡事故はどれもがたてわり保育時に発生) たてわり保育時は、何歳児の担任という考え方はない。その意識があると事故は起こる。変なプライド、責任はいらぬ。
- ・**災害対策こそ先手必勝**
 タイムライン防災=予測できるものに関しては先に手を打つ。
- ・**気象庁(地方気象台)から出るものと、地方自治体から出るものの違いを知っておく**
 気象庁(地方気象台): 注意報・警報・特別警報など
 地方自治体: 避難準備情報・避難勧告・避難指示など
 気象庁の情報をもとに園の方針を決めればよい(地方自治体の判断を待たなくていい)。
 避難準備情報・高齢者『等』避難開始の『等』は、要支援者のこと。要支援者には乳幼児も含まれる。
- ・**対策をとって何もなかったことが一番重要**
- ・**災害に対する姿勢は、団体プレイ&自己責任であることを事前に徹底しておく**
 自己責任原則=すべて、自分の判断、自分の決定で行ったことは、自分の人生で受け止めるなければならない。
 覆水盆の返らず=起こったことは元にならない。

2 感想

- ・安全についての意識が不十分だったことを考えさせられた研修だった。様々な研修から、「保育の質の向上を」と考え、実践することが多かったが、保育とは安全の上に成り立つ。安全を抜きに行うことができないと改めて考えることができた。特に安全についてのガイドラインには、目を通したことがなかったのが事実で、研修後、早速読んでみた。全職員にもガイドラインに目を通してもらい、理解を一致し、園内正常とし、異常の発見を早くできる体制を作っていきたい。また、自園では、保育の中で個人の感覚で正常を判断することが多い。そのため問題・異常と感ずる点が様々で、危機管理ができていない。保育の場面一つ一つにどれが正常なのか(園内正常)を決め、共有する。そして、他人事ではなく、園内正常でない時は、誰でもが指摘、指導できる園にしていきたい。
 『習慣』という言葉もよく出た研修。普段の生活から、安全について考えた行動・思考をもって生活を変えていかなければならないと感じた。ありがとうございました。
 (記録 社会福祉法人 大樹会 やまもも保育園 伊田 真史)